

第12回全国書写書道伝統文化大会  
令和5年度全国年賀はがきコンクール

主催 一般社団法人日本書字文化協会  
共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構  
後援 文部科学省他

【 文部科学大臣賞 】

神奈川県・川崎市立真福寺小学校 3年  
山口 真栄

ていねいに書くのがぼくのこだわり

先生はなぜ字が上手なのかなといつも考えながら、自分なりに字をていねいに書いていました。先生は、ここは少しあけるよとか、字のさいしょはこのあたりからはじめるといいよと、字のバランスや書き方をアドバイスしてくれました。言われたことに気をつけながら、ゆっくりていねいに何回も書いていると、少しずつ見本に近い字が書けるようになってきました。今回のコンクールでは、ぜったい最高の字を書いて、最高のしょうを取るぞと思いながら、最後まであきらめずていねいに書きました。先生から電話をもらい、文部科学大臣賞だよと聞いた時は、本当にうれしくてがんばってきた良かったなと思いました。親や先生や友だちにもほめられ、もっと上手な字を書きたくなりました。ていねいに字を書くことは、時間もかかるし大へんだけど、これからもつづけていきたいです。